



《令和8年度町一般会計予算の目玉事業》

令和8年度一般会計予算は国の地方創生臨時交付金も活用し、多くの新規事業が盛り込まれた町民福祉に役立つ積極予算となりました。主な新規事業は次のとおりです。

○旧広津小学校・保育園解体	4,399万円
○自治会集会施設整備補助（エアコン設置等）	3,100万円
○消防団詰所新築工事（相道寺）	2,965万円
○有害鳥獣焼却炉設置（広津に設置）	2,000万円
○アルプス広場マレットゴルフ場改修 （2028年開催国民スポーツ大会使用、36ホール周り人工芝生化）	1,599万円
○小学生4～6年生GIGAスクール端末更新	1,419万円
○町内全登録防犯灯のLED化	1,100万円
○全自主防災会へのデジタル無線機配布	951万円
○こどもだれでも通園制度（ こ にこまる こ で実施）	768万円
○会染小学校大規模改修設計委託	727万円
◆「みらい戦略室」設置 （地域プロジェクトマネージャーを任用し、戦略を検討する）	677万円
○スマートテロワール（町農業振興）推進	200万円
○河川敷バスケットゴール設置（中学生要望）	140万円
○町バス巡回線デマンド交通試行（8月～10月）	50万円
○新中学生自転車購入補助	45万円
○クラフトパークでのドッグラン試行	30万円
○美術館検討委員会（今後の運営方法を検討する）	19万円

【3月議会のポイント】

- ・議案審議を通じ令和8年度一般会計予算と国民健康保険特別会計予算についての議会意見書を提出、回答を求めました。

【議会意見書のポイント】

1. 一般会計予算では、新たに新設される「みらい戦略室（以後、戦略室）」が実効性ある組織となるよう、議会として、町に次の事項を明確にするよう求めた。
 - ①戦略室の新設に当たり、10年後の町の姿（農業・産業・公共交通・福祉など）を理事者・町職員・議会・町民の声を広く反映させた具体的なビジョンを早期に策定し、明文化すること。
 - ②役場庁舎、小学校、葬祭センターなどの老朽化対策の方針を、戦略室の重要任務（ミッション）として、位置付けること。
2. 国民健康保険特別会計予算では、8年度から始まる国の「子ども・子育て支援金」による町民負担（平均で1世帯当たり月316円程度の負担増）を抑えるため、軽減策を検討すること。

《私の一般質問のポイント》

「避難行動要支援者」対象者の見直しを

問 災害時、逃げ遅れゼロを実現するには、特に避難支援が必要な方（避難行動要支援者）の名簿に対象者を網羅することが必要である。名簿に近隣自治体の多くが対象者としている高齢者（80歳以上など）の追加を。

答 町や自主防災会の知る範囲で、不安のある世帯に個別避難計画の作成を依頼しているの、見直す考えはない。

問 自主防災会の役員が毎年変わる所が多いので、支援が必要な対象者を広く知らせた方が自主防災会もやり易いと思うが。

答 自主防災会の意見を聴き検討する。

円滑な避難所開設と運営体制の強化を

問 町は避難場開設などの業務は学校保育課・生涯学習課の職員が担当するとしている。両課で避難所担当の職員は決まっているか。避難場運営の研修・訓練を行っているか。

答 避難場担当職員は組織として対応することになっている。研修は検討が必要と感じている。

「ただいま☆いけだまち」を実現するためにビジョンと施策の具体化を

問 行政と町民が同じ方向を向き、「ただいま☆いけだまち」を実現するため、10年後の町のあるべき姿（ビジョン）を明確にしその実現戦略や施策の具体化を。

答 ビジョンをスピーディーに具体化するため、来年度、地域プロジェクトマネージャー（国の制度で地域活性化をマネジメントする人）2名を採用し、「みらい戦略室」を立ち上げ、人口増対策など検討していく。適切なタイミングで町民の声を聴き合意形成を図る。

歌人「岡 麓」の生誕150周年事業の開催を

問 本年・再来年で島木赤彦・岡 麓は生誕150周年を迎える。両者は強い絆でむすばれており、岡 麓生誕150周年を記念して、「二人の絆展」や短歌コンクール、文化探訪ツアーを企画すべきと考えるが。

答 提案のような企画を来年度も計画のなかに取り入れていくことを考えている。